

弘 済 会 報

2022 (令和4年)
7.10 No.185
KOSAIKAIHO

夏

CONTENTS

令和4年度役員	2
令和4年度教育研究論文・著書募集	3
令和3年度受賞者のご紹介	
随想「コロナ禍3年目に想う」(戸井道彦)	4
退職準備セミナー開催のご案内	
福祉事業のご案内	5
学校園紹介(岡山県立水島工業高等学校)	6
文芸のひろば	7
球根贈呈校園紹介	8

絵画 | 岡山城には夢がいっぱい
岡山市立大野小学校2年(昨年度) 岡田 彩和 さん



令和4年度 第1回運営委員会・第1回幹事会

去る6月2日、ピュアリティまきびにおいて令和4年度第1回運営委員会・第1回幹事会を開催しました。会議では、竹井千庫支部長の挨拶に引き続いて議事に入りました。令和3年度事業報告および決算報告は、いずれも原案どおり異議なく承認されました。

また、任期満了に伴う幹事、監査および運営委員の改選が行われ、次のとおり選任されました。



令和4年度岡山支部役員一覧

顧問	鍵本 芳明			
支部長	竹井 千庫※			
副支部長	奥橋 健介	河合 浩一	細川 誠	
	村田 秀石			
常任幹事	國府島貞司※			
幹事	大森 博幸	小郷 順子	梶原 福通	
	佐々木雅之	武内 洋二	那須 知美	
	壬生実千代	吉田 康文		
監査	石下 義久	森山 泰幸		
運営委員	片山安基夫	國友 道一	小林 英一	
	近藤 博	豊田 佳香	内藤 奨	
	二宮 幸得	平井 信雄	宮井 宏	
	山本 近信	(敬称略, ※は事務局役員)		

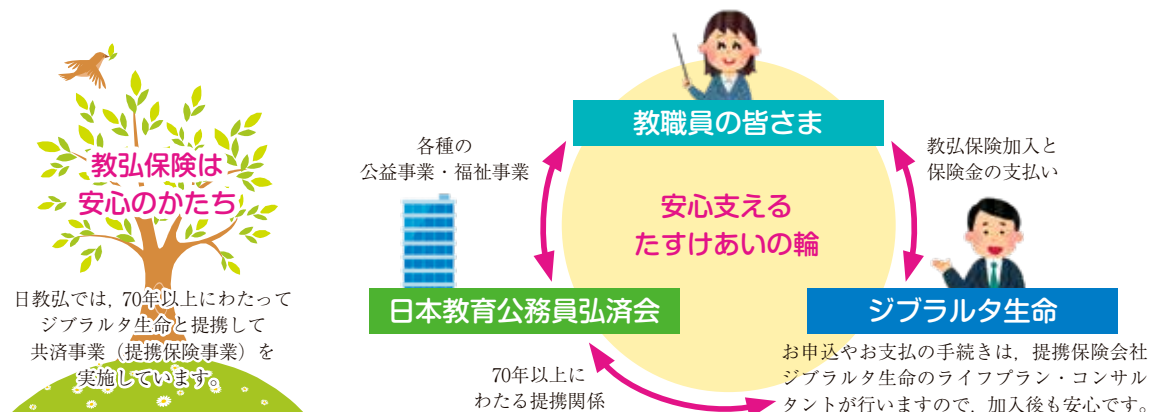
～すべては子どもたちのために～

公益財団法人日本教育公務員弘済会（略称 日教弘）の教育振興事業（奨学事業，教育研究助成事業，教育文化事業）は**“最終受益者は子どもたちであること”**を根本的な理念として実施しています。

これからも、未来を担う子どもたちの健やかな成長を願い、事業運営に取り組んでまいりますので、皆さまの一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

— 日教弘の各事業は、教弘保険の契約者配当金等を財源にしています。 —

日教弘の教育振興事業（奨学事業，教育研究助成事業，教育文化事業）および福祉事業は、教弘保険の契約者配当金等により運営されており、日本の教育界に貢献しています。



令和4年度 教育研究論文・著書募集中!

募集部門	助成金額等
論文部門 (学校部門)	最優秀 30万円
	優秀 20万円
	優良 10万円
	奨励 5万円
論文部門 (個人部門)	最優秀 15万円
	優秀 10万円
	優良 5万円
	奨励 3万円

弘済会では、教育の実践研究をまとめた論文・著書を募集し、優れた実践研究に対して助成を行っています。受賞者には表彰式にて賞状を贈呈し、優良以上の論文・著書は「教育研究集録」にまとめ、県内の学校や教育機関等に配付します。

応募締切 令和4年 8月31日

応募方法 ホームページ (<http://okakyoko.or.jp>) に詳しく掲載しております。

たくさんの
ご応募を
お待ちしております



～令和3年度 教育研究論文・著書 受賞者のご紹介～

令和3年度受賞者の方々に、次の質問にお答えいただきました。

- 1 受賞の感想 3 研究にまつわるエピソード(得た成果、工夫点など)
2 応募のきっかけ 4 今後の取組



受賞者の方々の論文は、「教育研究集録」でお読みいただけます!(HPでもご覧いただけます。)



学校部門 最優秀賞
岡山市立高島中学校

受賞時: 代表者 梅原 信芳 校長

生徒の潜在的ニーズを満たしポジティブな感情を引き出す教育の実践―「デザイン思考」によるプロジェクトの推進を通して―

1 この度は、このような素晴らしい賞をいただき、大変栄誉あることと感謝申し上げます。生徒の立場に立って生徒理解に努め、指導・支援の工夫改善を図ってきた教育の本質につながると考えて取り組んだことを評価していただき、教職員にとって大きな励みとなりました。

令和3年度日教弘教育賞
(全国規模) 最優秀賞受賞

2 様々な教育課題に直面し、目の前の生徒のための課題解決に向け、日々試行錯誤を繰り返しておりました。そういったときに、表面的なニーズに対応するのではなく、本質的な欲求である潜在的ニーズを探ってアプローチする「デザイン思考」の手法を取り入れることで成果が得られ、その取組をまとめることとしました。

3 本校は、合言葉「チーム高島」に、今年度、「エンジョイ高島」を加えました。全教職員が一丸となり、教育という仕事の意義や、やりがいを感じて、この仕事に楽しんで取り組むということです。研究を通じて、この合言葉の実現が図られたことも成果の一つです。

4 R4年度も本校の課題を踏まえ3つのプロジェクトを立ちあげて課題解決を図る予定です。この度の受賞の喜びを胸に、生徒たちの成長のために、引き続き、教育実践に取り組んでまいります。



学校部門 優秀賞
総社市立昭和中学校

受賞時: 代表者 東 長典 校長

少子化の進む中で地域への愛着と誇りを持ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きようとする生徒の育成―英語特区・五つ星学園における幼小中一貫教育とインバウンド教育の実践を通して―

1 このような賞を賜り大変光栄です。と同時に、健やかな成長を見せてくれた本校の生徒をとっても誇らしく思います。本研究を支えてくださった保護者・地域の皆様と職員、高く評価して下さった日教弘本部と岡山支部の皆様に対して厚くお礼申し上げます。

令和3年度日教弘教育賞
(全国規模) 優良賞受賞

2 幼小中一貫教育の五つ星学園と英語特区という特色のある教育環境を基盤に、ここ数年来特に工夫を凝らして進めてきた本校の研究実践に手応えを感じ、論文として整理することにより、そのプロセスや成果の継承及び普及につなげたいと考え応募しました。

3 英語授業のみならず、豪州姉妹校交流やピア・サポート、インターナショナルデイ、地域行事等に全職員が誠実に取り組んだ結果、生徒の地域愛の深まりや、将来にわたって英語を学ぼう、使おうという意欲の高まりが、客観的データで確かめられました。

4 インバウンド教育の可能性が明らかになったので、コロナ禍でも国際交流を促進するため、オンライン交流の仕組みの構築等が今後も必要と考えます。今回の受賞を糧にして、この五つ星学園ならではの特色のある教育活動に一層励んでいければと思います。



個人部門 最優秀賞
岡山県立津山中学校

井尾 佳弘 指導教諭

1人1台端末を毎時間使う英語の授業実践と成果検証―Google Workspaceで授業パッケージ化/手書きvsタイピング学習成果検証―

1 この度このような立派な賞をいただき、感激しております。弘済会関係者の皆様、新たな学びに取り組んだ生徒たち、力添えいただいた同僚の先生方、研究を可能にしてくれた環境等、すべてに感謝いたします。本当にありがとうございました。

令和3年度日教弘教育賞
(全国規模) 優秀賞受賞

2 1人1台端末が「ない」状態から「ある」状態に一斉に変わる過渡期を経験できました。様々な活用方法を試し、成果と汎用性が期待できるものを厳選して授業に生かしてきました。それをまとめる機会として、今回応募させていただきました。

3 端末活用の成果とは、活用による英語力の向上です。そのためには、簡便で頻度の高い活用方法の開発が必要です。また、手書きとタイピングの学習効果の差も気になることです。生徒の反応の分析も含めて、これらの点をまとめました。

4 次の研究課題は、生徒がよく使用しているAI翻訳の効果的な使用方法の開発です。翻訳結果としての英文の正確さを生徒はどれくらい正しく判断できるのか。この正確さを追求した指導はどの程度行うべきか等々、今後も研究を続けます。



随想「コロナ禍3年目に想う」

岡山市立瀬戸中学校 校長 戸井 道彦

「コロナ禍」というワードが浸透し3年目を迎えている。当初は収束まで、せいぜい半年か1年くらいかと思われていたが、未だにその気配は見受けられない。そのようななか、人々はコロナ禍に対応した生活を模索し、コロナとの共存、「with コロナ」へと変化してきているように感じている。感染症対策から生まれた様々な機器、リモートという発想、生活様式やマナーの変革など、新型コロナウイルスの撲滅を目指すのではなく、上手に付き合う様々な方法がどんどん生まれ、そして「より快適に」を求め、進化を成し遂げている。

本当に人間とはすごい生き物だと思う。私は「これまでも人々は困難な環境に出会う度に、こうやって考え、模索し、克服してきたのではないか」と思う。「神は乗り越えられる試練しか与えない。」というフレーズを聞いたことがあるが、本当によく言ったものだと思う。

人間には「考える」という力があり、知恵と努力で様々な困難を乗り越えられるようになってきているのだ。新型コロナウイルス感染症は、これまでに経験したことのない不自由さを人々の生活に与え、負の影響をたくさんもたらしめているが、こうやって世の中が進化を遂げている状況を考えてみると、悪いことばかりではないようにも思えてくる。

私は、子供たちがこの「考える」という力を持つ人間のすばらしさに気づいてもらいたいと思っている。そして、「考える」という力でこれからおとずれる様々な困難を乗り越え、成長し、たくましく生きていってほしいと思う。「Society5.0」「予測困難な時代」を迎えると言われているなか、私たちは、「考える」力が身についていくような教育を目指していかなければならないとコロナ禍を通して改めて実感している。

令和4年度「退職準備セミナー」開催のご案内

新型コロナウイルス感染症対策のため、**本年度末にご退職される方に限り、定員を決めて**開催します。



総社会場（定員70名）

11月 5日（土） 受付開始 13:30～
開催時間 14:00～16:30

サンロード吉備路
総社市三須825-1
☎（0866）90-0550

岡山会場（定員75名）

11月19日（土） 受付開始 13:00～
1月21日（土） 開催時間 13:30～16:00

おかやま西川原プラザ ※カーナビご使用の際は、
岡山市中区西川原255 所在地での検索をお願いします。
☎（086）272-1923

津山会場（定員60名）

11月12日（土） 受付開始 13:00～
開催時間 13:30～16:00

津山市総合福祉会館
津山市山北520
☎（0868）23-5130

※このほか、倉敷でも開催予定です。開催日は弘済会報秋号でお知らせします。

**参加費
無料**

主な内容

- 教弘保険等、ご退職に伴う保険料払込方法変更手続きの概要
- 「岡山教弘友の会（退職会員の会）」の活動内容のご紹介
- 専門講師による豊かなセカンドライフのためのセミナー

申込方法

【教弘保険にご加入の定年退職の方】

令和4年9月中旬、ご自宅宛にご案内の封書を郵送しますので、同封の返信用ハガキにてお申込ください。ご参加の可否は、**ハガキの先着順**により決定します。

【早期ご退職の方、教弘保険に未加入の定年退職の方】

日教弘岡山支部事務局（☎086-272-1909）へご連絡ください。

教弘保険ご加入の皆さまへ 福祉事業のご案内

各種福祉事業には、**申請期限**がございます。
該当する事業がないか、ぜひ一度ご確認ください。

申請漏れはございませんか？

事業名	事業内容	贈呈品	申請期間
新加入記念品 ※岡山教弘主催	教弘保険に初めて加入されたとき、記念品を贈呈します。 	時計付きペン立て	加入契約 確定後2ヵ月以内
結婚祝品	会員が結婚されたとき、お祝品を贈呈します。 	カタログギフト (1万円相当)	会員が 結婚後1年以内
出産祝品	会員または会員の配偶者が出産されたとき、お祝品を贈呈します。 	カタログギフト (5千円相当)	会員または 会員の配偶者が 出産後1年以内
小学校入学祝品	今年度お子様が小学校に入学された会員を対象に、お祝品を贈呈します。 	図書カード (3千円分)	4/1～8/31必着
高等学校入学祝品	今年度お子様が高等学校に入学された会員を対象に、お祝品を贈呈します。 	図書カード (5千円分)	4/1～8/31必着

締切
迫る！

締切
迫る！

【申請方法】

申請書を、当支部宛にご郵送またはジブラルタ生命LC(学校園担当営業社員)にお渡しください。申請書の様式は、当支部ホームページ(<http://okakyoko.or.jp>) および弘済会事業案内に掲載しております。

【お問い合わせ先・申請書ご郵送先】

〒703-8258岡山市中区西川原255
公益財団法人日本教育公務員弘済会岡山支部
☎086-272-1909



日教弘岡山支部HP



【ジブラルタ生命保険(株)岡山支社 各営業所 電話連絡先】

ジブラルタ生命LC(学校園担当営業社員)に申請書の取次依頼をされる場合は、下記の各営業所へご連絡ください。

- | | | | |
|-------------|---------------|-------------|---------------|
| ●岡山第一・第四・第六 | ☎086-271-2010 | ●岡山第二・第五・第七 | ☎086-234-7501 |
| ●津山 | ☎0868-22-4053 | ●倉敷 | ☎086-422-1769 |
| ●笠岡 | ☎0865-62-4455 | ●総社 | ☎0866-92-6550 |

宿泊補助

年度内8枚まで

ホテルに予約後、弘済会へご連絡ください。

補助額(1人1泊につき)

ホテル2,000円 ペンション1,500円

会員が弘済会指定の宿泊補助施設を利用されるとき、宿泊費の補助が受けられる「宿泊施設利用券」を発行します。

ご利用方法および最新の対象施設一覧は、当支部ホームページ(<http://okakyoko.or.jp>)をご覧ください。



最新の宿泊施設一覧



会食補助

補助券を

年1回7月にご自宅へお届け

補助額**1,000円**(合計2,000円以上の会食につき)

日教弘岡山支部が指定する施設で、合計2,000円以上ご会食されたときにご利用いただける会食補助券(1,000円分)を贈呈します。

会食をした当日に施設へご提出ください。

対象施設

1	ピュアリティまきび(岡山市北区)
2	備中味の庄 伯備(新見市)
3	笠岡グランドホテル(笠岡市)
4	ザ・シロヤマテラス津山別邸(津山市)
5	高梁国際ホテル(高梁市)
6	ホテルリマーニ(瀬戸内市)

学校園紹介

誠実は人間最高の善である

本校は水島地区で基幹産業を支える優秀な人材を輩出するために創設された工業高校であり、令和4年度に創立60年記念式典を挙げる歴史ある学校です。



校舎外観

現在、機械科・電気科・工業化学科・建築科・情報技術科の5科を持ち、各学年8クラス、全校900人を越える大規模校です。部活動に所属する生徒が多く、全国大会の常連となっている部活動も複数ある活気のある学校です。



森 尚貴校長

岡山県立
水島工業高等学校

県指定「スーパーエンバイロメントハイスchool研究開発事業 (令和3年度～令和5年度)」

『本物への挑戦「5科が連携して本物のものづくりに取り組む」』を目的とし、研究テーマを「廃プラスチック等の再利用による有効活用をととした環境問題解決のための研究」に取り組んでいます。生徒達は環境問題に主体的に取り組み、SDGsへの貢献を図りながら、多様な学びによる先進的なものづくりを実践しています。地域と連携しながら環境教育やものづくりをととして生徒の資質能力の向上及び育成を図っています。研究2年目となる今年度は、次の3つの研究を進めています。

(1) マテリアルリサイクルの研究 (工業化学科・建築科・情報技術科)

廃プラスチックから3Dプリンタのフィラメントやアクセサリなどを製作します。

(2) サーマルリサイクルの研究 (機械科・電気科)

廃プラスチックを燃焼する装置を製作し、排熱から電気エネルギーを取り出します。

(3) ケミカルリサイクルの研究 (工業化学科)

再資源化燃料を製造します。

各科で課題研究を中心に取り組み、次年度には研究成果が発表できるように頑張っています。



フィラメント製造装置



スターリングエンジンカー

本物を目指す「水工ベース」

「未来を創る！育てる！水工SDGs」という標語のもと、SDGsへの貢献とSociety5.0への適応をめざしています。SDGsの視点から深い学びを探究し、地球的規模の課題解決に必要な資質・能力を身につけた地球市民の育成に努めています。倉敷美観地区周辺の伝統的建築群保存地区の町家を再生・保存する「倉敷町家プロジェクト」への参加、環境保全について探究する契機とする「各種環境学習イベント」への参加など数多くの特色ある地域連携活動を行っています。

BDF (バイオディーゼルフューエル) の製造と活用

工業化学科には、廃食用油からBDFを製造するプラントがあります。原料の廃食用油は本校の所在する西阿知地区に回収のご協力をいただき、もう一つの原料であるメタノールは地元企業から学習のために毎年ご提供いただいています。授業で生徒が年間約1000リットルのBDFを製造しながら、環境学習も併せて実施しています。BDFはカーボンニュートラルな燃料であり、発電機などに利用が可能で、本校では夜間照明等に活用しています。平成30年度の水害では、まきび支援学校へ発電機とBDFを持参して活用していただきました。現在はさらなる有効活用を模索しています。先日は倉敷市の副市長が視察で来校され、プラントや夜間照明等を見学されました。またBDFは、発電機だけでなく、トラクターやストーブ等にも活用できるということで、倉敷市とも連携して有効活用を検討していくことも考えています。



BDFプラント

文芸のひろば

作品の後に所属・お名前を記載しております。

教弘歌壇

石井 宏幸選

〈特選〉

鉱物の薄片に似た吾子の爪木洩れ
日をうけ煌と輝く

倉敷南高 中田理恵子

〔評〕木洩れ日の下で母子が憩っている。薄片とあるからには、子は嬰兒で、我が子として生まれてきてくれた命を胸に時を過ごす。この歌の良さは、爪に焦点を絞って命の交歓を詠い上げたところ。それも、鉱物という人体を形容するには少し硬質とも思える言葉を使って、木洩れ日での輝きを伝えることに成功している。その輝きの固さに、嬰兒の柔らかさ、母の視線の柔らかさが際立つ。

〈佳作〉

要約の途中で消えた「たとえば」の
ような夕暮れ時の帰り路

津山高 吉澤 周人

その祖父の大往生を見しのちの静かなる孫人は死ぬもの

退職会員 川上 安代

姉妹四人寄れば姦し冗長に卓の薔薇が笑みを溢せり

退職会員 松元 慶子

〈入選〉

九階よりエレベーターを待たずして階段に向かう子らの早春

退職会員 土師 康生

春色の花咲き初むるしづもりに兄逝きませり眠るがごとく

退職会員 桐野 忠夫

あの日から君を偲んで綴る歌今は至福の日課となりぬ

退職会員 矢田 寛

プランター時かぬ草花顔を出す目に見ぬ命空を飛び交う

退職会員 藤原 隆志

雪解けの水は結ばれ一筋の恵もたらず大河となれり

岡山学芸館高 三宅 洋広

昼下がり花を愛でつつ散歩道汝の子に還り母の手を引く

岡山西支援 江國 泰洋

西阿知の変わらぬ姿胸にせまる便りに見える運動会の

美咲・旭小 井上 尚枝

庭隅に今年も初芽の覗き初む亡夫自慢の九蓋草なる

退職会員 茅野 和子

「がんばって」声かけられし下校子ら杖つくわれは胸のふくらむ

退職会員 尾島 生子

青と黄とこはのどかな花葉畑彼の地の人は爆音の中

退職会員 貝畑 信行

顔中を口にし食べる恵方巻コロナ収束家族で祈る

退職会員 奥山 拓美

肌寒さ感じる季に新芽見て心温もる時を持ちおり

岡山西小 林 幹衛

寒空に力蓄え冬菜畑次の実りに心はずみぬ

岡山・宇野小 服部 誠

剪定をしていたいたムクゲの木青葉巡らし狭庭賑わす

退職会員 花房 富恵

晩春の蓮華畑で野草摘む二歳の孫と古希の私と

和気関谷高 北川久美子

亡国の幻を追う独裁者現世に巣くう裸の王様

退職会員 渡辺 智子

減らそうと臨んだ会議長引いて結局どれも大事と切れず

岡山・財田小 三好 隆志

連休はコロナ禍なれどマスクつけ行楽地には笑顔が戻り

退職会員 西村 毅

◆選者吟
一水のどこかが破れ乗つ込める鮒が空蹴る鰭のしろがね

教弘俳壇

伊東 伸介選

〈特選〉

翡翠の憩ふや吉備路文学館

岡山城東高 別所 琴美

〔評〕清流の宝石と呼ばれるカワセミを見たのは尾上公会堂付近の舟だまり。視界をコバルトブルーの鳥が占めた。総合グラウンドにある朝ドラの聖地、旧岡山偕行社裏の池にも飛来する。高度経済成長期に激減した幻の鳥も、環境の回復で今や身近な鳥だ。ランニングで吉備路文学館に立ち寄った。庭には西川用水より引き入れた疎水がある。館員がカワセミを時々見ると教えてくれた。個別の視点を持つ写生句は強く美しい。一句で時勢を捉えている。

〈佳作〉

大寒や胃カメラ悲しうへり入る

退職会員 貝畑 信行

板摺りに笑ひし路の翠かな

片上高 森 稔倫

〈入選〉

しばらくは綿毛明かりの石路の径

津山高 落合 範昭

門前に子猫三匹嵐雲

笠岡高 山崎 淑加

新緑や心の扉開け放つ

退職会員 松元 慶子

四肢ついた大根土より生まれけり

岡山学芸館高 三宅 洋広

囀の銃撃音に変はる国

退職会員 万波 照世

大寒や銀輪風の如くゆく

退職会員 土師 康生

主亡き放置自転車水雨降る

退職会員 茅野 和子

タンポポに声かけている門のすみ

退職会員 尾島 生子

春遠し閃光映す瞳燃ゆ

玉島高 羽原 由子

一万歩あるいて桜のアンソロジー

退職会員 菅野 孝江

桜舞ふ明日香で古代の夢辿る

退職会員 渡辺 智子

筍の匂をイノシシ早く知る

退職会員 奥山 拓美

五月晴れジャパネット色人が染め

退職会員 西村 毅

春風や綿毛に乗せて飛ばす希望

岡山西支援 三好 隆志

◆選者吟 山形県上山市
茂吉記念館まで桜桃の花の下

教弘柳壇

丸山 敏幸選

〈特選〉

携帯に縛られ歩く自由人

岡山西小 林 幹衛

〔評〕殆どの人が携帯電話を持っている。中には運転中や歩きながら操作している人も居る。携帯電話を持っていないと不安で、使用出来ないという苛苦し、何時間も見たります。このような依存症は自由であるべき心を縛ってしまっている。新型コロナウイルスの脅威により、その度合がさらに大きくなったように思う。この句の眼目は「自由人」だ。「携帯に縛られ歩く」は多くの人が感じているが、さらに「自由人」と続けたことが秀逸だ。自分独自の感じ方を、自分の言葉で表現することが大切である。

〈佳作〉

金メダルあげたき夫は今になく

退職会員 茅野 和子

いつ使ういつかは使う箱を溜め

退職会員 土師 康生

孫からは余生のヒントもらつて

退職会員 花房 富恵

〈入選〉

セルフレジ心細くてひとりごと

井原高 小川 秀敏

武器取るな主キリストは言わぬのか

退職会員 尾島 生子

ありがたや今年も鬼の役ができ

退職会員 貝畑 信行

若き日と異なる時の長さかな

岡山・宇野小 服部 誠

寄せ書きに「終息したら」の句が並ぶ

岡山城東高 大西 浩史

教え子がいつこり待った赴任先

岡山一宮高 北村 庸江

すらすらと言えてた九九につまる老い

退職会員 松元 慶子

アクセルがどこについているワイギア観る

岡山学芸館高 三宅 洋広

花の山予備校生も誘い出す

退職会員 奥山 拓美

連休はマスクはずして農作業

退職会員 西村 毅

綿密な予定を組んであすを待つ

美作高 初川 渉

◆選者吟
八十路ですゆつたり気分曲走路

退職会員 藤原 隆志

手花火の間に幾つ夢を見る

退職会員 菱川 泰博

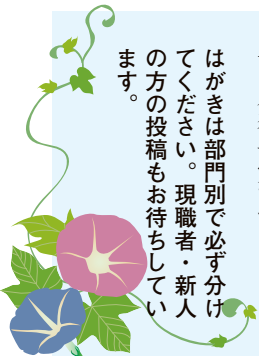
作品募集

次号は八月三日締切

応募は短歌・俳句・川柳毎に別のはがきで一枚に三点以内、勤務先・氏名を明記。事務局教弘歌壇係、教弘俳壇係、教弘柳壇係と記してください。

次回会報一八六号は十月十日発行予定です。

はがきは部門別で必ず分けてください。現職者・新人の方の投稿もお待ちしております。



みんなで植えたチューリップがきれいに咲いたよ

チューリップの球根贈呈事業を行って、子どもたちに喜ばれています。
この春届いた開花のお便りの一部をご紹介します。



昨年の12月中旬に、3・4歳児が花壇に球根を植えました。自分たちで植えたことで関心を持ち、「芽が出たよ」「ぐんぐん大きくなるね」と気付いたことを先生や友達に伝えたり、チューリップの花が咲くことを楽しみにしながら水やりをしたりする姿が見られました。4月には、チューリップが満開に咲いた花壇の前で写真を撮り、春の訪れを感じることができました。



倉敷市立庄認定こども園



総社市立服部幼稚園



総社市立総社北幼稚園



真庭市立草加部幼稚園



笠岡市立青空認定こども園



赤磐市立山陽幼稚園



倉敷市立川辺幼稚園



真庭市立河内こども園

種ではなく、球根から育てることに興味を持ち、水やりをしながら生長を楽しみにしていました。家庭で栽培している幼児もいて、家のチューリップの生長と比べて、「幼稚園の方が背が低い」「家のはちょっと色が見える」「もうちょっとしたら色が見えるかなあ」などと、感じたことを言葉にする姿も見られました。



岡山市立西大寺南幼稚園



玉野市立サンマリン認定こども園

